

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	南区市民部地域振興課(582-4723)
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市藤野地区センター	所在地	札幌市南区藤野2条7丁目2番1号
開設時期	平成元年4月1日	延床面積	1,524.30m ²
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、 その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール(アリーナ)、集会室(2室)、和室、実習室、娯楽室(2室)、図書室		
2 指定管理者			
名称	札幌市藤野地区センター運営委員会		
指定期間	平成30年(2018年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由: 当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながることとなる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数: 1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数: 1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

Ⅱ 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 ▼下記の6項目を柱とした基本方針を策定している。 (1)市民の福祉増進に努め公平な利用に供する管理運営を行う。 (2)施設の効用を最大限に発揮する。 (3)まちづくりの人材育成やまちづくり活動の助長を推進していく。 (4)サービス水準の維持向上に努め、継続的なサービスの提供を行う。 (5)利用者の声を常に把握し、管理運営に反映させる。 (6)最小の経費で最大の効果を上げていく。		A B C D 適切に実施されている。
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼「札幌市藤野地区センター平等利用確保の方針」に基づき、ミーティング等で啓発を繰り返し行った。その結果、貸室業務(申請、預かり、予約、抽選)の公平性、高齢者や障がい者など、だれでも公平に利用できる環境づくりができた。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼利用者への影響が少ない範囲において、廊下や給湯室の照明の間引きなどを実施したほか、昼休み時間や日差しの状況に応じた事務室の消灯など、年間を通じて節電に努めた。 ▼灯油については室内温度に応じた暖房の調整を行い、エントランスのロードヒーティングを可能な限り職員による除雪に切り替えるなど、利用者サービスの低下を招かないよう配慮しつつ省エネ対策に努めた。 ▼事務用品、清掃用品は環境に配慮したものを使用しグリーン購入ガイドライン指定品を購入した。 ▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。 ▼各職員がエコオフィス行動表で毎月チェックを実施し環境配慮の意識向上に努めた。 ▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、		

従事者の確保・配置、人材育成)

▼地域住民による運営委員会の下に事務局を設置。統括責任者(館長)、職務代理者(副館長)、図書司書など必要な職員を配置している。

▼人材育成

以下の研修等を計画、実施した。

開催日	研修名	概要	参加人数
毎月	環境保全・省エネ研修	職員の自己チェック表による確認	15
4/9	接遇研修	接遇とは見ること聞くこと	5
7/2	接遇研修	好感を持たれる話し方	5
10/1	接遇研修	感謝の心の伝え方	5
3/19	接遇研修	電話対応の基礎	5
5/10	関係法令実務研修	事務取扱要領について	12
8/20	防火管理者研修	R7教養セミナー	1
3/26	広報担当者研修	公共施設の「伝わる」デザイン研修	1
3月	情報セキュリティ研修	情報セキュリティについて	12

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼職員の日々の引継ぎ事項や、休日、夜勤職員の交代時には、口頭や業務日誌等により連絡を滞りなく行うことができた。

▼職員ミーティングを毎週実施し情報を共有するとともに、業務遂行をする上での注意点を周知するなど意識の向上に努めた。

▼利用者対応、平等利用等についての業務チェックリストを作成し、各職員が、毎月それぞれの対応を振り返りながら自己評価を行っている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼警備、電気工作物保守、エレベーター保守、自動ドア保守、舞台装置保守、ボイラー保守、地下貯油槽点検、建築基準法定期点検、駐車場除排雪、定期清ドア保守、舞台装置保守、ボイラー保守、地下貯油槽点検、建築基準法定期点検、駐車場除排雪、定期清掃、受水槽清掃について第三者による委託を行い、適正に業務が遂行された。

▼除雪については駐車場内に溜まった雪山の状況を観察しながら、適宜排雪の指示を行い、隣地に流れ込まないよう管理を行った。

・適切な管理を行うため、必要な組織整備や従事者の確保・配置をし、円滑な運営ができた。

・職員研修では、当初計画していた研修にはほぼ実施できた。年4回の接遇研修を実施し利用者の対応に生かした。また、計画にない外部研修にも参加することで、知識や資質の向上に役立った。

・組織内で常に情報を共有し、各業務についての見直し、改善につなげる事ができ、利用者対応も向上した。また、5年度から始めた「家族開放」の運用方法については利用者目線で何度もミーティングを行い、スムーズな運用が可能となった。

・委託業務は、どの契約業者も仕様書に沿った適正な業務を遂行できた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

▼運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
第1回	1.地域振興課からの連絡等 2.情報交換
第2回	1.地域振興課からの連絡等 2.情報交換
第3回	1.R7年度の各種事業について 2.予算執行関係について 3.アンケート実施結果について
第4回	1.地域振興課からの連絡等 2.情報交換
<協議会メンバー> 利用者代表 サークル代表、サークル会員 地域代表 藤野地区高齢者協議会総務 藤野地区体育振興会総務 南区役所 南区市民部地域振興課課長、地域活動担当係長、まちづくり推進係職員 運営委員会 会長、総務部長、事務局長	

・運営協議会等を年4回開催した。内3回は地域振興課と各館長が出席するコミュニティー館長会議が開かれた。各会議では委員、館長からの意見を受け業務改善につなげた。

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

▼資金管理については、指定管理業務と自主事業の区分経理を実施しており、税理士による外部会計監査を導入し経理等の点検を行っている。

▼現金管理については、現金等取扱規程を整備し、現金出納簿、利用料出納簿、預かり金出納簿、後納利用台帳でそれぞれ収入・支出の管理を行っている。また、現金については事務室内金庫において施錠管理しており、入金に関しては、翌銀行営業日までに預入している。

・現金等取扱規程に基づき、適正な会計業務を行った。

・現金等取扱規程に基づき、適正な会計業務を行った。また、住民組織による外部監査も行い、透明性を一層高めることができた。

▽ 要望・苦情対応

▼要望・苦情については、処理報告書を整備し、職員間の情報共有を行うとともに、区の所管部に連絡をする体制になっている。間の情報共有を行うとともに、区の所管部に連絡をする体制になっている。

▼利用者からのご意見箱を設置し、改善策を協議し対応を行っている。

・要望・苦情については情報共有し迅速な対応、処理を行っている。また事案によっては所管課と協議し対応した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

	▼利用者アンケートの結果については、集約・分析し館内に掲示したほか、南区と運営協議会に報告した。 ▼講座、文化祭、各スポーツ大会についてもアンケートを実施し事業企画の参考にしている。 ▼事業報告については、定められた様式に従って毎月区の所管部に提出している。札幌市の検査については、関係書類を整え区所管部の財務及び業務検査を受けた。 ▼職員各自の業務チェックリストを作成し、毎月三段階の自己評価を実施した。（「管理水準の維持向上に向けた取り組み」に記載したとおり）	・アンケートで寄せられたご意見に対して、情報共有をに対応した。 ・業務チェックリストにより各自のレベルアップをめざした。					
(2) 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無などの安全衛生面を含む) ▼施設で働くパート職員に対し、北海道の最低賃金1,075円(R7.10.1発令)を上回る1,080円の時給を支給した。 ▼時間外勤務や休日出勤をさせる場合は、労働基準監督署に提出した労使協定届(36協定)より勤務を命じた。 ▼全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼1年に1回の定期健康診断を実施した。 ▼衛生推進者を配置している。 ▼労災保険が適用される事案はなかった。 ▼就業規則に「無期転換ルール」を導入し、対象職員からの申込により無期労働契約に転換している。 ▼育児・介護休業法の改正に伴い、職員育児・介護休業規程を改訂した。 ▼ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。	・法令を厳守し、またライフワークバランスにも十分配慮した勤務体制を整えることができた。 ・労働基準監督署の行政指導は受けなかった。	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> 適切に実施されている。	A	B	C	D
A	B	C	D				
(3) 施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入) ▼利用者の安全について、冬季に玄関通路ガラス屋根からの落雪があるため、雪底を取り除くとともに、適宜セーフティーコーンを置いて安全を確保した。 又、館内の段差部分にはテープを貼り注意を促した。 ▼拾得物取扱については、現金、貴重品は警察に届出し、その他の物についてはガラスケース(常時施錠)保管し、速やかに所有者に返却できるように努めた。 ▼施設職員連絡網、関係機関連絡先一覧表等を作	・7年度の冬は他の区に比べ、比較的降雪量が少なく、大きなトラブルはなかった。 ・館内の忘れ物が多く、掲示で注意を呼びかけるほか、連絡先が分かる場合には、直接電話するなど手元	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> 適切に実施されている。	A	B	C	D
A	B	C	D				

	成し、適切に対応できる体制をとっている。 ▼損害賠償保険については、札幌市の仕様書に適合したものに加している。また講座、交流事業中の不慮の事故に備えたレクリエーション保険にも加している。 ▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等) ▼第三者委託により実施した、警備、清掃、各種保守点検、除雪等の業務については仕様書の水準を達成した。 ▼屋上の雨水排水口については、枯れ葉等による詰まり防止のため、定期清掃以外にも適宜点検・清掃を行った。 ▼軽微な修理等は職員が対応した。 ▼水道水については、業者による点検のほかに週1回職員による水質検査を行っており、安全確保に努めている。 ▼駐車場については、駐車スペースが少ないため、センター広報や館内貼紙を通じて、公共交通機関の利用や駐車マナーの向上を繰り返し呼びかけた。又、駐輪場の表示を分かりやすくし、点字ブロック付近に駐輪している自転車には注意喚起の用紙で呼びかけた。 ▽ 防災 ▼防災計画を毎年更新している。 ▼まちづくりセンター、警備会社、警察、隣接施設を含む連絡網を作成している。 ▼8月、2月に自衛消防訓練を実施した。	に届く様に努力した。 ・施設の老朽化が目立ってきているが、利用者の安全確保を最優先に、維持管理を適切に対応できるよう努力している。 ・施設や備品(パイプ椅子等)の不備が起きた際には迅速な修理に当たったほか、敷地内の雑草を取るなど景観にも注意を払った。 ・自衛消防訓練を実施する事により職員の防災意識をより高めることができた。																															
(4)事業の計画・実施業務	▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務 <table><tr><td></td><td>(参考) 前年度実績</td><td>計画</td><td>実績</td></tr><tr><td>講座数</td><td>15</td><td>17</td><td>15</td></tr><tr><td>回数</td><td>18</td><td>25</td><td>23</td></tr></table> <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">講座名</th><th rowspan="2">回数</th><th rowspan="2">募集人数</th><th rowspan="2">受講人数</th><th colspan="3">実績(%) ※目標80%</th></tr><tr><th>参加率</th><th>理解度</th><th>満足度</th></tr><tr><td>1</td><td>もう少し速く走るために！かけっこ講座</td><td>1</td><td>10</td><td>10</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr></table>		(参考) 前年度実績	計画	実績	講座数	15	17	15	回数	18	25	23		講座名	回数	募集人数	受講人数	実績(%) ※目標80%			参加率	理解度	満足度	1	もう少し速く走るために！かけっこ講座	1	10	10	100	100	100	・ヨガやアイシングクッキーなど新しい講座を取り入れ、計15講座を実施。募集人数210名に対し、164名が参加した。数年前から続いているアイヌ刺しゅう講座は、継続の希望が多く、サークル活動をスタート。
	(参考) 前年度実績	計画	実績																														
講座数	15	17	15																														
回数	18	25	23																														
	講座名	回数	募集人数	受講人数	実績(%) ※目標80%																												
					参加率	理解度	満足度																										
1	もう少し速く走るために！かけっこ講座	1	10	10	100	100	100																										
		<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">適切に実施されている。また、講座(事業)数及び回数について、ほぼ計画通りに達成しており、受講者の理解度・満足度ともに概ね100%を実現したことは評価できる。</td></tr></table>	A	B	C	D	適切に実施されている。また、講座(事業)数及び回数について、ほぼ計画通りに達成しており、受講者の理解度・満足度ともに概ね100%を実現したことは評価できる。																										
A	B	C	D																														
適切に実施されている。また、講座(事業)数及び回数について、ほぼ計画通りに達成しており、受講者の理解度・満足度ともに概ね100%を実現したことは評価できる。																																	

2	スマホ教室 ～はじめてのスマートフォン体験～	2	24	22	92	86	96
3	健康づくり講座 ヨガでリラックス＆健康に！	4	10	10	100	100	100
4	大人のアイシング クッキーレッスンと ティータイム	1	8	4	50	100	100
5	美術への誘い	1	12	13	108	72	66
6	夏休み体験講座～ 和の心！わびさび 素敵な手づくり紙す き和紙～	1	10	8	80	100	100
7	ものづくり体験講座 アイヌ刺しゅう～額 縁をワンポイントで ～初級クラス～	1	12	12	100	100	100
8	スマホ教室 ～スマホの基本と LINE体験～	2	24	14	58	84	100
9	地域健康づくり支援 講座 正しく知ろう。フ レイルの話と自宅 でできる健康体操	1	20	19	95	100	100
10	ものづくり体験講座 アイヌ刺しゅう～カ バラミツに挑戦して みよう！～中級クラ ス～	2	10	12	120	100	100
11	南区食生活改善推進員 協議会と共催 シニア向け料理教室	1	10	7	70	100	100
12	スマホ教室～スマホ の基本と防災～	2	24	10	42	80	90
13	ときめくクリスマスア イシングクッキー作 り	2	12	12	100	100	100
14	冬休み体験講座 ～キラキラデコアート	1	12	2	17	100	100
15	南区食生活改善推 進員協議会と共催 今日は私がシェフ！ 親子料理教室	1	5組 10名	4組 9名	90	100	100
計		23	208	164	-	-	-

・まちづくり関連では、食育に関する「料理教室」「親子料理教室」は食生活改善推進委員協議会、「健康づくり支援講座」は保健センターにご協力いただき開催した。

・開催講座については全体として80%近くの受講率で、理解度、満足度に関しては概ね100%となり好評だったが、中止になった講座が2講座あったので周知方法や講座内容の伝え方について工夫し、より多くの参加者につなげ、定員に近づけるよう努めたい。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

	(参考) 前年度実績	計画	実績
講座数	13	13	12
回数	28	28	27

・スポーツ大会の運営にあたっては利用者の自主運営により実施しており、事業への利用者参画の取組として定着している。大会は3種目とあり、昨年1～2月

	事業名	回数	目標 人数	参加 人数	参加率(%) ※目標80%
1	文化祭	1	500	485	97
2	バトミントン大会	1	25	24	96
3	ミニバレー大会	1	30	24	80
4	バレーボール大会	1	30	31	103
5	地域小学校の生活科授業	7	100	104	104
6	近隣施設(町内会・保育園)	3	30	121	403
7	おはなしの会	8	80	52	65
8	なつのおたのしみ会	1	20	25	125
9	ふゆのおたのしみ会	1	20	27	135
10	クリスマス会	1	50	35	70
11	こども一日司書体験(夏)	1	2	0	0
12	こども一日司書体験(冬)	1	2	1	50
13	なつかしビデオアニメ上映	1	10	5	50
計		28	899	934	104

▽ 地域の憩いの場づくり施設活用事業(無料)に関する業務

	(参考) 前年度実績	計画	実績
事業数	8	8	8
回数	298	288	269

	事業名	回数
1	卓球	43
2	バドミントン	43
3	バレーボール	23
4	ミニバレー	38
5	家族開放	65
6	ゲートボール	12
7	囲碁・将棋	21
8	学習室	24
計		269

▽ 図書業務

▼ 普及行事・展示の企画実施

ともに、昨年に引き続き満足度の高い大会となった。目標人数に届かなかった種目もあるので、今後は参加人数を増やし更に盛り上がる大会にしていきたい。

・読み聞かせ等の事業は、目標人数近くの方が参加。毎回来場する親子や活動に興味がある大人も参加している。今後も来室者の増加を目指していきたい。また子ども一日司書体験の希望者が減少しているので、周知方法を見直したい。

・地域の子どもの受入れでは、センター見学をきっかけに子供たちの図書室の利用や子供サークルへの加入が見込まれるので、今後も見学の受け入れを継続していきたい。

・「家族開放」は利用者数が大幅に増えトラブルが見受けられたため、ルールの見直しを行い、徐々に浸透しつつあるものの、運用面での課題も明らかになった。来年度は意見を取り入れながら、より実態に即した改善を進めていく。

・囲碁将棋の利用は、高齢化などの様々な要因が重なり参加者が非常に少ない。引き続き広報などでPRを

	(参考) 前年度実績	計画	実績	・映像化された作品や季節に合わせた本を集め、決まった棚やワゴンに入れたテーマ展示により普段手に取らない本が目に留まり、新たな貸し出しにつながっている。 ・季節や話題性を考慮し、関心の高い本を展示したイベントコーナーを展開し、来年度は新たな行事の企画や蔵書の充実を図っていきたい。
開館日数	279	－	277	
貸出冊数	47,861	－	45,747	
普及行事	68		88	
	行事・展示名	回数		
1	映画・ドラマになった本	12		
2	オススメ本・人生を変えた1冊・元気が出る本	10		
3	毎日の健康管理	9		
4	アナタのイチ押しの本！	9		
5	食品衛生月間	6		
6	温泉・旅行	5		
7	睡眠・健康	5		
8	大河ドラマ	4		
9	体を動かして楽しもう	4		
10	家庭菜園	3		
11	入園・入学	3		
12	卒園・卒業	3		
13	節分、バレンタイン	3		
14	秋の味覚	2		
15	大掃除ついでに模様替え	2		
16	おばけの本 ～怖いけど読みたい	2		
17	ひな祭り	2		
18	祭り	1		
19	お弁当作り	1		
20	藤野中・オススメ本POP コンテスト	1		
21	ストレスに負けないこころからだ	1		
計		88		
▽ 市民の自主活動及び交流の支援業務				
▼ 藤野地区町内会連合会による、ふるさと祭り、書初め大会、かるた大会、社会福祉協議会によるふれあい交流会やいきいき元気フェスタ、老人クラブによる娯楽大会や輪投げ大会などの支援を行った。				
・来年度は地域の団体への支援・協力についても積極的に実施していきたい。				

(5)施設利用に関する業務	▽ 利用件数等				・サークルの高齢化が進み、解散や利用回数の減少、	A B C D 適切に実施されている。利用件数は、概ね計画	
			6年度実績	7年度計画			7年度実績
	件数(件)		728	550			685

	アリーナ	人数(人)	15,438	13,000	20,773	サイズの小さい方の部屋を選択するなどがみられた。 ・アリーナでの時間貸し利用が、R7.7の料金改正により値上がりしたため減少傾向にあるが、来年度は増加するよう努めていきたい。	通りに達成しており評価できる。	
		稼働率(%)	57.7	51.5	55.0			
	集会室A	件数(件)	378	400	417			
		人数(人)	4,242	4,200	5,171			
		稼働率(%)	36.2	37.6	39.2			
	集会室B	件数(件)	466	450	433			
		人数(人)	4,757	4,500	4,421			
		稼働率(%)	44.7	43.2	40.6			
	実習室	件数(件)	471	370	420			
		人数(人)	5,725	5,000	5,550			
		稼働率(%)	42.3	34.1	37.6			
	和室	件数(件)	339	380	353			
		人数(人)	1,601	1,500	1,784			
		稼働率(%)	32.1	37.3	31.9			
	娯楽室A	件数(件)	430	330	473			
		人数(人)	1,974	1,800	2,255			
		稼働率(%)	39.2	36.8	41.4			
	娯楽室B	件数(件)	338	250	418			
		人数(人)	1,464	1,400	1,897			
		稼働率(%)	32.1	24.5	36.6			
	▽ 不承認 0件、取消し 37件、減免 6件、還付 4件							
▽ 利用促進の取組								
▼センター広報やホームページで貸室利用方法の周知を図るとともに、利用サークルの紹介なども積極的に行った。								
▽印刷サービス								
▼事務室に設置している印刷機、コピー機を利用者の用に供し実費相当額を徴収している。込み合う時期には予約受付も行っている。								
・地域住民組織や、サークル、その他利用者など幅広く利用されていることから、引き続き印刷サービスを行っていく。								
(6)付随業務	▽ 広報業務					A B C D	適切に実施されている。	
	▼センター広報を毎月発行しPRに努めた。 ▼館内2カ所にあるサークル案内ポスターをジャンル別にし見やすくしている。 ▼ホームページにより最新の空き室状況や、講座、各イベント案内、利用方法など迅速な情報提供を行った。 ▼ウェブアクセシビリティの取組については、ホームページ作成ツール内で確認し、利用者によって見やすく配慮している。 ▼ホームページと館内掲示の両方でリアルタイムでの空き室状況の提供を行った					・センター広報やホームページによる広報活動で、センターの利用、講座の参加、コピーサービスの利用などのPR効果が得られた。 ・今後もウェブアクセシビリティの向上に向け誰でも見やすいHPでの情報提供を心掛けて		

	の空さ至状況の提供を行つた。 ▼講座事業については広報さっぽろ、センター広報、ホームページでのPRの他、講座ごとの募集案内を作成し、館内や屋外掲示板、近隣店舗に掲示した。 ▽ 引継ぎ業務 (前回からの継続指定のため、引継ぎ事項なし)	報提供をい掛けしていく。													
2 自主事業その他															
▽ 自主事業 ▼飲料自動販売機1台を自主事業として設置している。R7年度の販売手数料は112千円となった。市民還元のためロビーチェア(3人掛け)を購入した。 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼第三者委託については、市内業者への委託を基本としている。 ▼文化祭の開催時、パンの販売を障がい者施設に依頼・許可した ▼盲導犬協会への募金箱を継続して設置している。		・アリーナの利用や無料開放事業などにより、自販機の販売手数料が増加した。 ・地元業者を活用することにより、効率的な業務を行っていく。 ・交流事業では福祉施設のパン販売を実施し貢献することができた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">適切に実施されている。また、自主事業による利益還元も評価できる。</td></tr></table>	A	B	C	D	適切に実施されている。また、自主事業による利益還元も評価できる。							
A	B	C	D												
適切に実施されている。また、自主事業による利益還元も評価できる。															
3 利用者の満足度															
▽ 利用者アンケートの結果 <table><tr><td>実施方法</td><td> ①一般アンケート(R8年2月) 来館者 125人に用紙を配布して実施 回答者 125人 ②講座受講者アンケート(R7年4月～R8年3月) 受講者 164人に用紙を配布して実施 回答者 153人 ③図書室利用者アンケート(R7年11月) 来館者 50人に用紙を配布して実施 回答者 50人 ④各種大会参加者アンケート(R6年11月～R7年3月) 参加者 81人に用紙を配布して実施 回答者 69人 </td></tr><tr><td>結果概要</td><td> ①一般アンケートの主な結果(R8年2月) ・総合的満足度について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 93% ・職員対応について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 98% ・貸室について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 84% ・施設内の清掃について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 97% </td></tr></table>		実施方法	①一般アンケート(R8年2月) 来館者 125人に用紙を配布して実施 回答者 125人 ②講座受講者アンケート(R7年4月～R8年3月) 受講者 164人に用紙を配布して実施 回答者 153人 ③図書室利用者アンケート(R7年11月) 来館者 50人に用紙を配布して実施 回答者 50人 ④各種大会参加者アンケート(R6年11月～R7年3月) 参加者 81人に用紙を配布して実施 回答者 69人	結果概要	①一般アンケートの主な結果(R8年2月) ・総合的満足度について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 93% ・職員対応について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 98% ・貸室について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 84% ・施設内の清掃について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 97%	・8年2月に実施した利用者アンケートでは、職員対応や館内清掃に高い評価だった。貸室については、前年度よりポイントが下がったが、総合的にも高い評価をいただいた。今後も利用者様に満足いただけるよう、職員一同対応していきたい。 ・満足度理解度において高い評価を得たので、さらに受講者の声を反映させながらより良いものを実施していきたい。 ・今年度もセンター	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">利用者の満足度に係る要求水準を定めている項目について、全て目標値を10ポイント以上上回る数値となっており高く評価できる。</td></tr></table>	A	B	C	D	利用者の満足度に係る要求水準を定めている項目について、全て目標値を10ポイント以上上回る数値となっており高く評価できる。			
実施方法	①一般アンケート(R8年2月) 来館者 125人に用紙を配布して実施 回答者 125人 ②講座受講者アンケート(R7年4月～R8年3月) 受講者 164人に用紙を配布して実施 回答者 153人 ③図書室利用者アンケート(R7年11月) 来館者 50人に用紙を配布して実施 回答者 50人 ④各種大会参加者アンケート(R6年11月～R7年3月) 参加者 81人に用紙を配布して実施 回答者 69人														
結果概要	①一般アンケートの主な結果(R8年2月) ・総合的満足度について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 93% ・職員対応について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 98% ・貸室について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 84% ・施設内の清掃について(要求水準:普通以上80%) 大変良い～普通 97%														
A	B	C	D												
利用者の満足度に係る要求水準を定めている項目について、全て目標値を10ポイント以上上回る数値となっており高く評価できる。															

	②講座受講者アンケート(R7年4月～R8年3月) ・各講座の受講者満足度 100% ・各講座の受講者理解度 100% ③図書室アンケート(R7年11月) ・70代が最も多い。次いで60代。 利用者の全員が南区在住だった。 ・本の探し方や調べ物の相談 満足～どちらかといえば満足 84% ・図書館職員の利用者への対応 満足～どちらかといえば満足 100% ・全体的な満足度 満足～どちらかといえば満足 96% ④各種大会参加者アンケート (R7年11月～R8年3月) ・50代が最も多い。次いで60代、70代。 他区からの参加も多かった。 ・各種大会の参加者満足度 満足～どちらかといえば満足 100% ・競技時間や開催時期について 今のままでいい 94% ・今後も大会に参加したいか ぜひ参加したい～都合つけば参加したい 99%	広報や広報さっぽろで講座を知り申し込んでいる方が多かったが、知人紹介などで受講している方も増えてきている。前年から始めた各町内会館、各小学校や児童会館、各まちづくりセンター、大型商店、郵便局などにポスター掲示を引き続き依頼した。少しずつではあるが、地域への周知がされてきている。しかしながら受講者申込数が振るわず中止になる講座もあった。若い世代や町内会未加入世帯へどうPRしていけばいいか今後の課題とし、講座を企画していきたい。
利用者からの意見・要望とその対応	【意見】 アリーナのブラインドと仕切りネットを修理してほしい。 【対応】 以前より、区所管部へ要請しているが、予算がつかず現在も進展がなく保留中。	・アンケートやご意見箱、運営協議会等で把握した利用者意見、要望について、施設として有効な事柄については、経費、手法的に可能な限り実施している。 ・施設面や経費面で指定管理者の裁量を超える意見、要望については利用者の声として南区に伝えることとしている。
	【要望】 クーラーの設置。多数意見あり 【対応】 集会室ABにはクーラーが設置済だが、他の貸室は、扇風機やスポットクーラーで対応している状態。各貸室のクーラー設置を引き続き南区に伝えていく。	
	【要望】 駐車場が狭く入れづらい 【対応】 隣接施設に無断駐車する車が多く、謝罪に伺った。館内にはポスターを張り、イベント時には公共交通機関で来館するようお願いした	

4 収支状況				
▽ 収支		(千円)		
項目	R7年度計画	R7年度決算	差(決算-計画)	
収入	35,240	37,648	2,408	
				・自動火災報知機受信機バッテリー交換、エレベーター 単年度では赤字だが、繰越剰余金を補填してお

<table><tr><td>指定管理業務</td><td>35,140</td><td>37,536</td><td>2,396</td></tr><tr><td>指定管理費</td><td>29,020</td><td>30,034</td><td>1,014</td></tr><tr><td>利用料金</td><td>5,500</td><td>5,862</td><td>362</td></tr><tr><td>その他</td><td>620</td><td>1,640</td><td>1,020</td></tr><tr><td>自主事業収入</td><td>100</td><td>112</td><td>12</td></tr><tr><td>支出</td><td>35,200</td><td>37,583</td><td>2,383</td></tr><tr><td>指定管理業務</td><td>35,100</td><td>37,506</td><td>2,406</td></tr><tr><td>自主事業支出</td><td>100</td><td>77</td><td>▲ 23</td></tr><tr><td>収入-支出</td><td>40</td><td>65</td><td>25</td></tr><tr><td>自主事業による利益</td><td>0</td><td>77</td><td>▲ 77</td></tr><tr><td>法人税等</td><td>0</td><td>72</td><td>72</td></tr><tr><td>純利益</td><td>40</td><td>▲ 84</td><td>▲ 124</td></tr></table>	指定管理業務	35,140	37,536	2,396	指定管理費	29,020	30,034	1,014	利用料金	5,500	5,862	362	その他	620	1,640	1,020	自主事業収入	100	112	12	支出	35,200	37,583	2,383	指定管理業務	35,100	37,506	2,406	自主事業支出	100	77	▲ 23	収入-支出	40	65	25	自主事業による利益	0	77	▲ 77	法人税等	0	72	72	純利益	40	▲ 84	▲ 124	ターLED照明への交換、電気温水器修理などを行った。 ・ワイヤレスマイク、ホワイトボード、扇風機、卓球フェンス、パソコンの更新などを行った。 ・単年度では赤字となったが、繰越剰余金で補填した。 ・コロナ禍の休館時に行事等の支出がない中、札幌市からの補填金もあり、単年度の剰余金が多くなったことで実費弁償の対象外となり、本年度も法人住民税が課せられた。	り、適切に施設運営されている。また、指定管理業務による利益還元に取り組んでいる点は評価できる。
	指定管理業務	35,140	37,536	2,396																																														
	指定管理費	29,020	30,034	1,014																																														
	利用料金	5,500	5,862	362																																														
	その他	620	1,640	1,020																																														
	自主事業収入	100	112	12																																														
	支出	35,200	37,583	2,383																																														
	指定管理業務	35,100	37,506	2,406																																														
	自主事業支出	100	77	▲ 23																																														
	収入-支出	40	65	25																																														
自主事業による利益	0	77	▲ 77																																															
法人税等	0	72	72																																															
純利益	40	▲ 84	▲ 124																																															
<table><tr><td>【参考】</td><td>R7年度決算</td><td>内容</td></tr><tr><td>指定管理業務による利益還元</td><td>113</td><td>下記のとおり</td></tr></table>	【参考】	R7年度決算	内容	指定管理業務による利益還元	113	下記のとおり																																												
【参考】	R7年度決算	内容																																																
指定管理業務による利益還元	113	下記のとおり																																																
▽ 説明	・ワイヤレスマイク、ホワイトボード、扇風機、卓球フェンスを更新した ・収支は差引▲84千円となった ・自主事業からは「ロビーチェア」を購入																																																	
＜確認項目＞ ※評価項目ではありません。																																																		
▽ 安定経営能力の維持			適	不適																																														
▼ 業務運営の効率化や、各種の節約により安定経営を続けていく。																																																		
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応			適	不適																																														
▼個人情報保護条例に則り、個人情報の適切な事務取扱を行った。																																																		
▼情報公開請求はなかった。																																																		
▼行政手続条例、オンブズマン条例への対応調査はなかった。																																																		
▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。																																																		

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	次年度以降の重点取組事項
【事業系】 ・講座を見直し、17講座計画中15講座を実施し、受講率は87%で満足度は各講座とも100%を超えた。 ・各種スポーツ大会を実施し、参加者には大変好評であった。 ・文化祭では参加者が減少しつつあるが、ステージ、展示とも好評であった。 ・図書室事業では、貸出数も徐々に増えてきている。また、おはなしの会やおたのしみ会等の行事参加者も増加している。 【施設保全系】 ・秋にえほんの部屋と事務室のエアコンを更新したので、次年度は快適に利用していただけるようになった。 【財務系】 ・今年度は選挙での貸室利用もあり、前年度の収入を上回ったが、電気料金高騰による光熱費の支出が重く、修繕費や備品消耗品に十分な予算配分がしづらい状況が続いている。	・今後も参加者の少ない講座は見直し、ニーズと内容を考慮し、満足度の高い講座を企画していきたい。また、講座や各種事業の活動情報の発信も見直し、なお一層の周知と利用の増加につなげたい。 ・R8年度の文化祭はステージと展示を同日開催し、参加者や見学者ともに喜ばれる様努力していきたい。 ・和室、実習室、娯楽室が未設置なので、早期の設置を希望していきたい。 ・令和7年7月からの使用料の値上げにより、アリーナの時間貸しの利用が減少したが、8年度は7年度の利用料金を上回るよう貸室の利用率を上げるよう努力していきたい。 ・最低賃金の上昇などにより人件費が増加しているが、労働環境を整え働きやすい職場環境にしていきたい。
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
適切に運営されているものと評価する。特に下記の項目について高く評価する。 ●利用者の満足度が高い水準で維持されていることは高く評価できる。引き続き、利用者の多様なニーズに合わせた貸室提供等により健全な施設運営を期待する。	改善を要する事項は特になし